

株式会社ナカニシ

2020年12月期決算説明会

2021年2月26日

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

2020年12月期 連結業績の概要	3
2021年12月期 連結業績の計画	11
各事業の概況と今後の施策	16

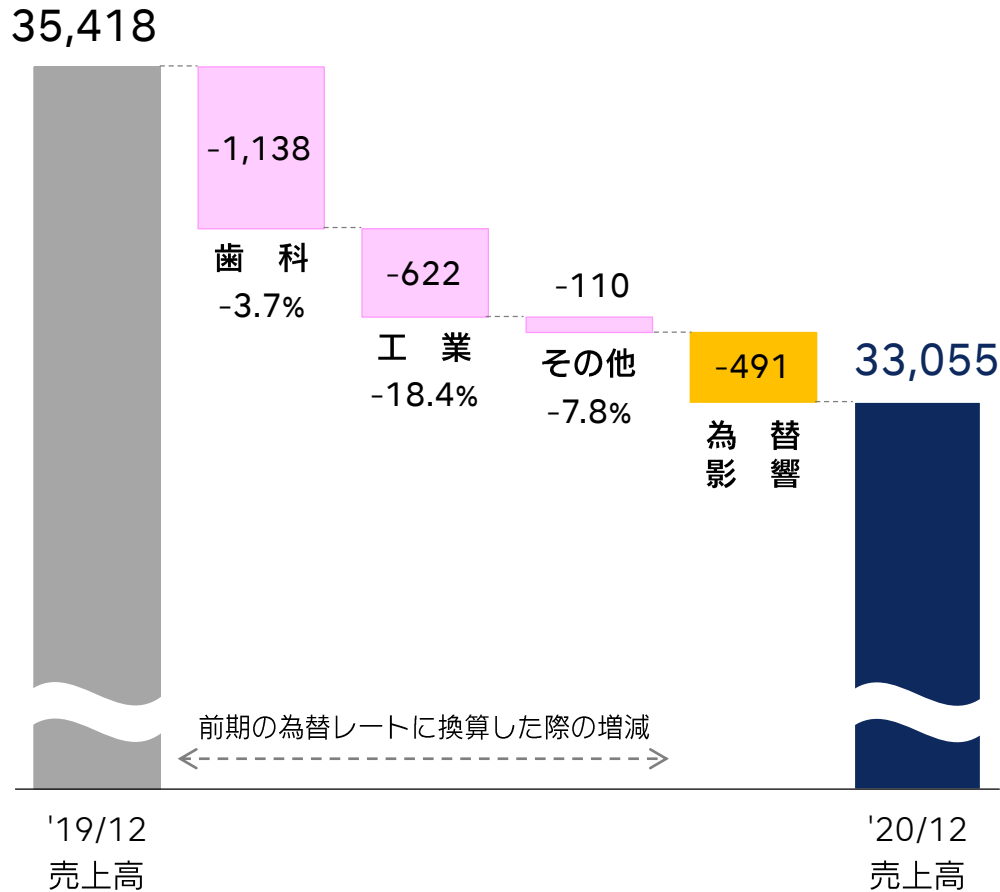
2020年12月期 連結業績の概要

百万円		当期実績 2020/12	前期実績 2019/12	前期比	当期計画 11/06上方修正	計画比
売上高		33,055	35,418	-6.7%	31,059	+6.4%
売上総利益		19,731	21,762	-9.3%	18,370	+7.4%
	利益率	59.7%	61.4%	-1.7 pt	59.1%	+0.6 Pt
営業利益		8,542	9,299	-8.1%	7,208	+18.5%
	利益率	25.8%	26.3%	-0.5 pt	23.2%	+2.6 Pt
経常利益		8,627	9,841	-12.3%	7,475	+15.4%
	利益率	26.1%	27.8%	-1.7 pt	24.1%	+2.0 Pt
親会社株主に帰属する 当期純利益		6,455	7,102	-9.1%	5,879	+9.8%
	利益率	19.5%	20.1%	-0.6 pt	18.9%	+0.6 Pt
E P S	(円)	74.49	81.97	—	67.85	—
為替レート						
- 米ドル	(円)	106.67	109.37	-2.70(円高)	105.00	+1.67(円安)
- ユーロ	(円)	122.01	122.53	-0.52(円高)	115.00	+7.01(円安)

▶ 為替影響額： 売上高 -491百万円（前期レート比），+590百万円（計画レート比）

▶ 為替感応度： 1円円安による年間売上高の変動 米ドル：58百万円増，ユーロ：66百万円増

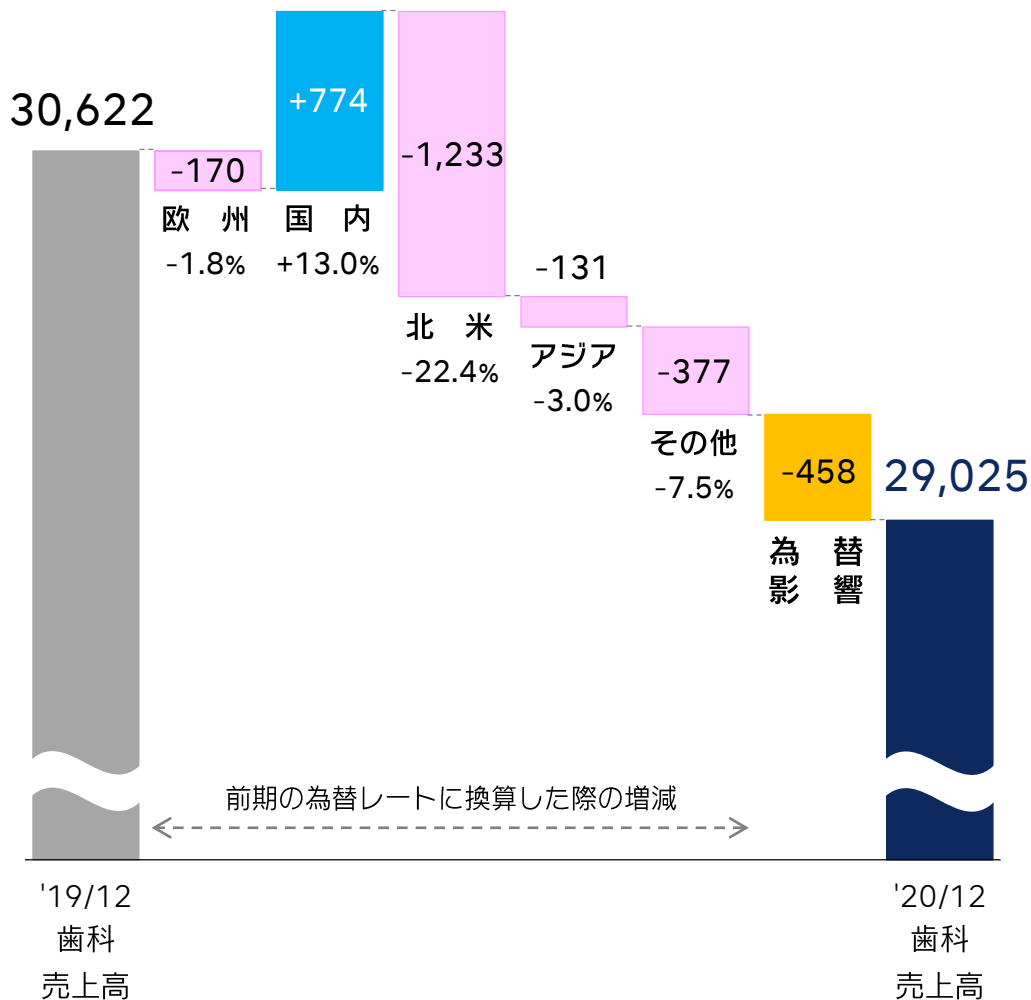
百万円



▶ 事業セグメント別連結売上高

	前期実績 2019/12	当期実績 2020/12	増減額
歯科製品関連	30,622	29,484	-1,138
工業製品関連	3,381	2,758	-622
その他	1,414	1,304	-110
為替影響	—	-491	-491
合計	35,418	33,055	-2,363

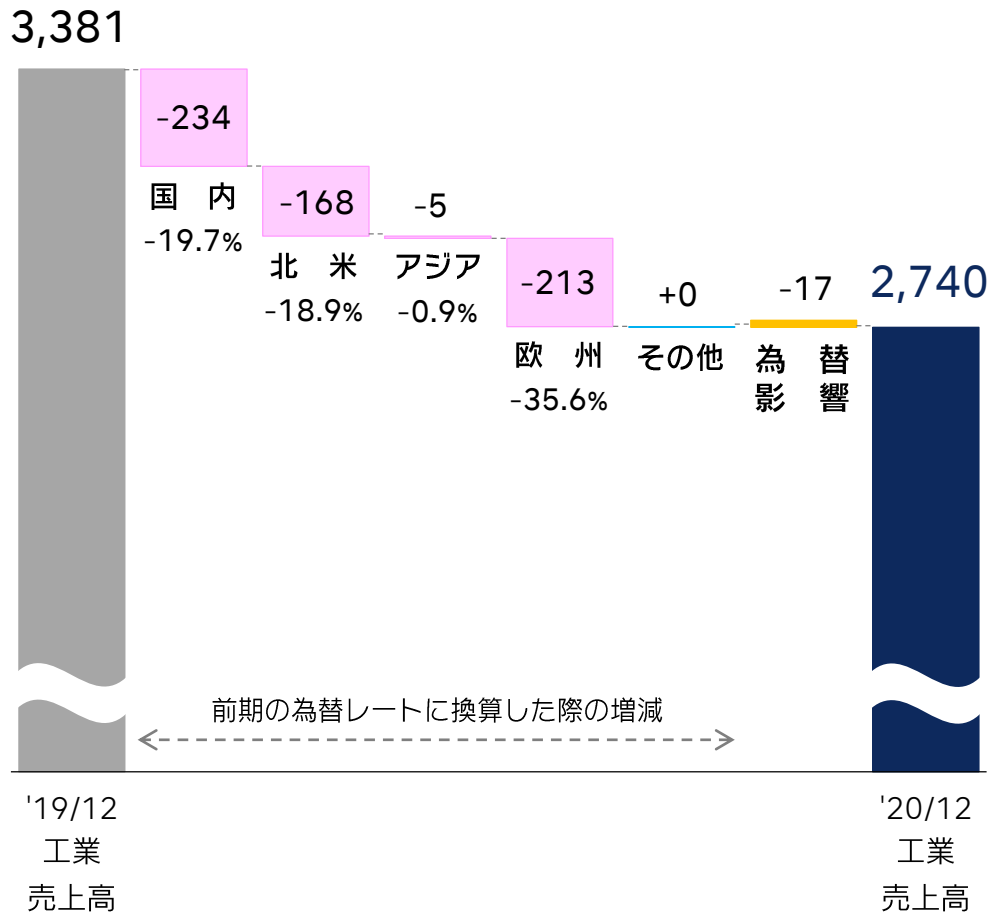
百万円



▶ 歯科製品関連・地域別連結売上高

	前期実績 2019/12	当期実績 2020/12	増減額
欧 州	9,741	9,570	-170
国 内	5,960	6,735	+774
北 米	5,510	4,277	-1,233
ア ジ ア	4,364	4,233	-131
そ の 他	5,044	4,667	-377
為 替 影 響	—	-458	-458
合 計	30,622	29,025	-1,596

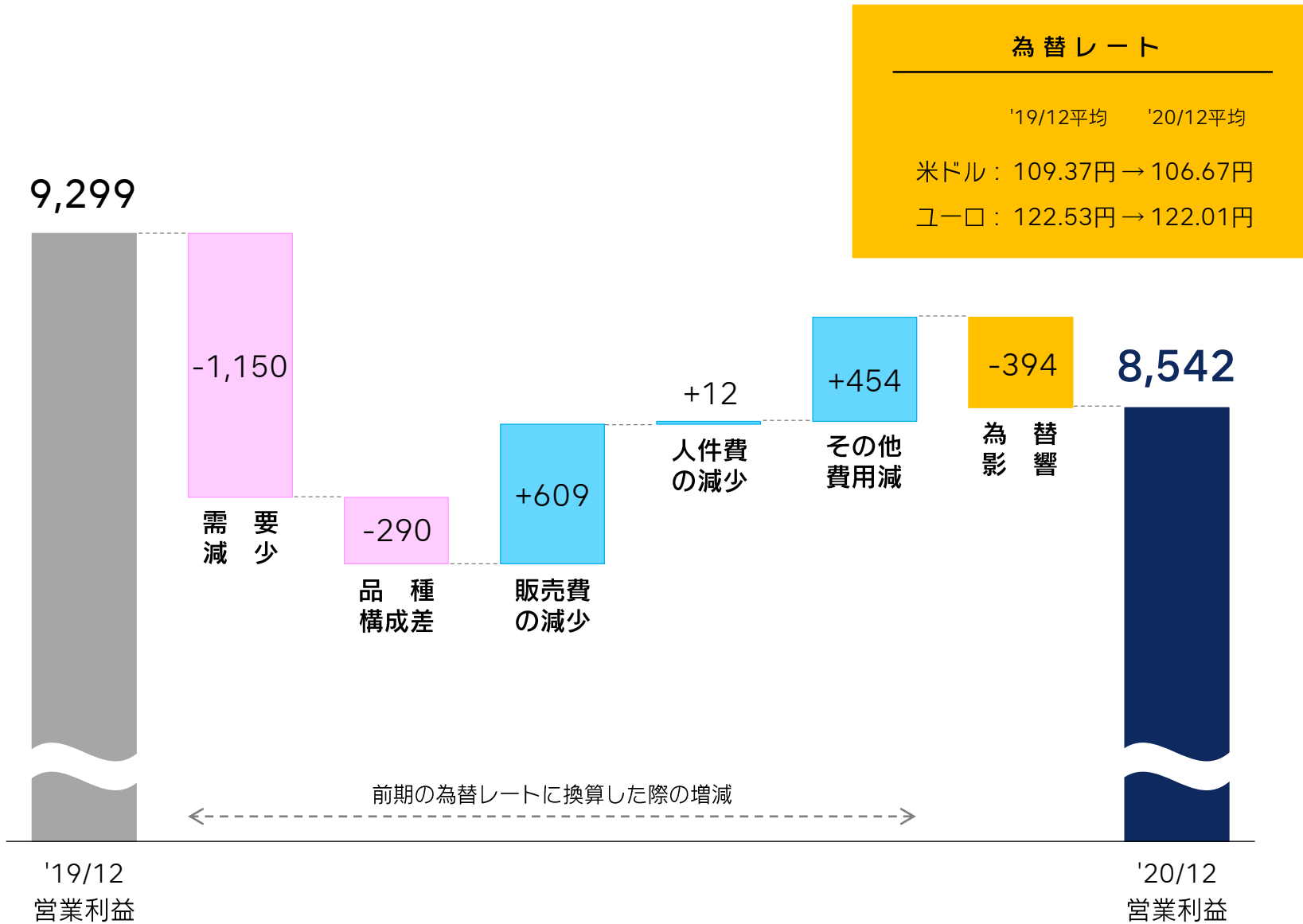
百万円



▶ 工業製品関連・地域別連結売上高

	前期実績 2019/12	当期実績 2020/12	増減額
国内	1,192	958	-234
北米	891	722	-168
アジア	690	684	-5
欧州	601	387	-213
その他	5	6	+0
為替影響	—	-17	-17
合計	3,381	2,740	-640

百万円



為替レート

'19/12平均 '20/12平均

米ドル：109.37円 → 106.67円

ユーロ：122.53円 → 122.01円

百万円	当期末 2020/12	前期末 2019/12	増減額	増減内容
総資産	82,470	77,536	+4,933	・現金及び預金 +3,806 ・関係会社株式 +2,805 ・投資有価証券 -2,000
- 受取手形及び売掛金	5,158	5,184	-26	
- 棚卸資産	10,604	10,538	+66	
負債	6,198	5,037	+1,161	・未払法人税等 +1,187
- 有利子負債	100	100	—	
純資産	76,272	72,499	+3,772	
- 利益剰余金	77,435	73,666	+3,768	
自己資本当期純利益率 (ROE)	8.7 %	10.2 %	-1.5 pt	
総資産経常利益率 (ROA)	10.8 %	13.1 %	-2.3 pt	

	当期実績 2020/12	前期実績 2019/12	増減額	主な内容
設備投資額	1,163	1,534	-371	
減価償却費	1,759	1,684	+74	

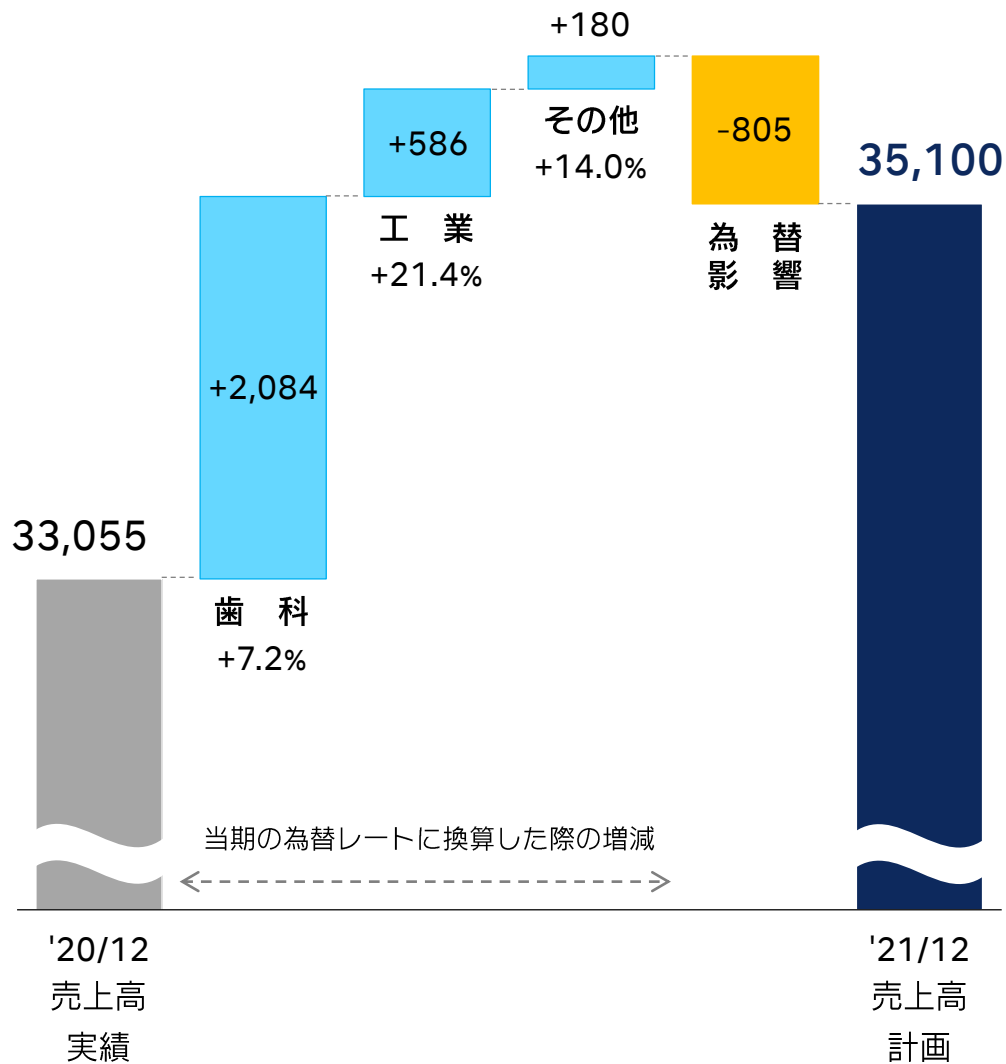
百万円

		国内	輸出計	欧州	北米	アジア	その他	合計	
歯科製品関連	2019/12実績	5,960	24,661	9,741	5,510	4,364	5,044	30,622	
	2020/12実績	6,735	22,289	9,519	4,183	4,147	4,440	29,025	
	前期比	増減額	+774	-2,371	-222	-1,327	-217	-604	-1,596
	増減率	+13.0%	-9.6%	-2.3%	-24.1%	-5.0%	-12.0%	-5.2%	
工業製品関連	2019/12実績	1,192	2,188	601	891	690	5	3,381	
	2020/12実績	958	1,782	387	704	684	6	2,740	
	前期比	増減額	-234	-406	-213	-186	-5	+0	-640
	増減率	-19.7%	-18.6%	-35.6%	-20.9%	-0.9%	+2.7%	-19.0%	
その他	2019/12実績	826	588	180	250	142	15	1,414	
	2020/12実績	791	497	155	202	124	16	1,289	
	前期比	増減額	-34	-90	-25	-48	-18	+0	-125
	増減率	-4.2%	-15.4%	-14.0%	-19.3%	-12.8%	+5.4%	-8.9%	
合計	2019/12実績	7,979	27,438	10,522	6,652	5,197	5,065	35,418	
	2020/12実績	8,485	24,569	10,061	5,090	4,955	4,462	33,055	
	前期比	増減額	+505	-2,868	-461	-1,561	-241	-603	-2,363
	増減率	+6.3%	-10.5%	-4.4%	-23.5%	-4.7%	-11.9%	-6.7%	

2021年12月期 連結業績の計画

百万円		2021/12 計 画	2020/12 実 績	増 減	説 明
売 上 高		35,100	33,055	+6.2 %	
売上総利益		21,033	19,731	+6.6 %	
	利益率	59.9 %	59.7 %	+0.2 Pt	
営 業 利 益		8,546	8,542	+0.1 %	
	利益率	24.3 %	25.8 %	-1.4 Pt	
経 常 利 益		8,879	8,627	+2.9 %	
	利益率	25.3 %	26.1 %	-0.8 Pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益		6,450	6,455	-0.1 %	
	利益率	18.4 %	19.5 %	-1.1 Pt	
E P S	(円)	74.45	74.49	—	
設 備 投 資		2,250	1,163	+1,087	機械設備 +650 IT関連 +360
減価償却費		1,781	1,759	+22	
想定為替レート					
- 米ドル	(円)	100.00	106.67	-6.67(円高)	為替感応度: 年間売上高73百万円/円
- ユーロ	(円)	120.00	122.01	-2.01(円高)	為替感応度: 年間売上高66百万円/円

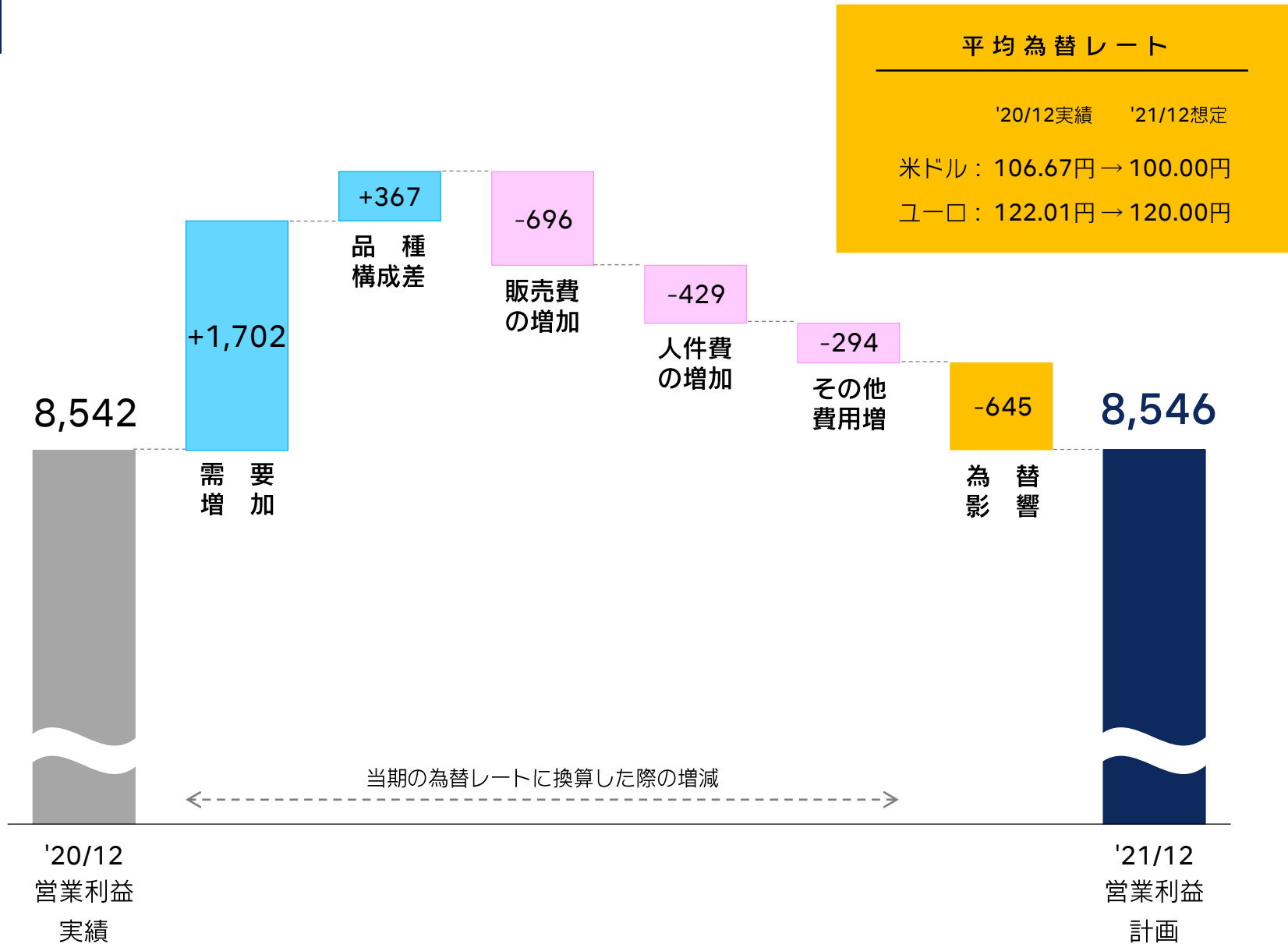
百万円



▶ 事業セグメント別連結売上高

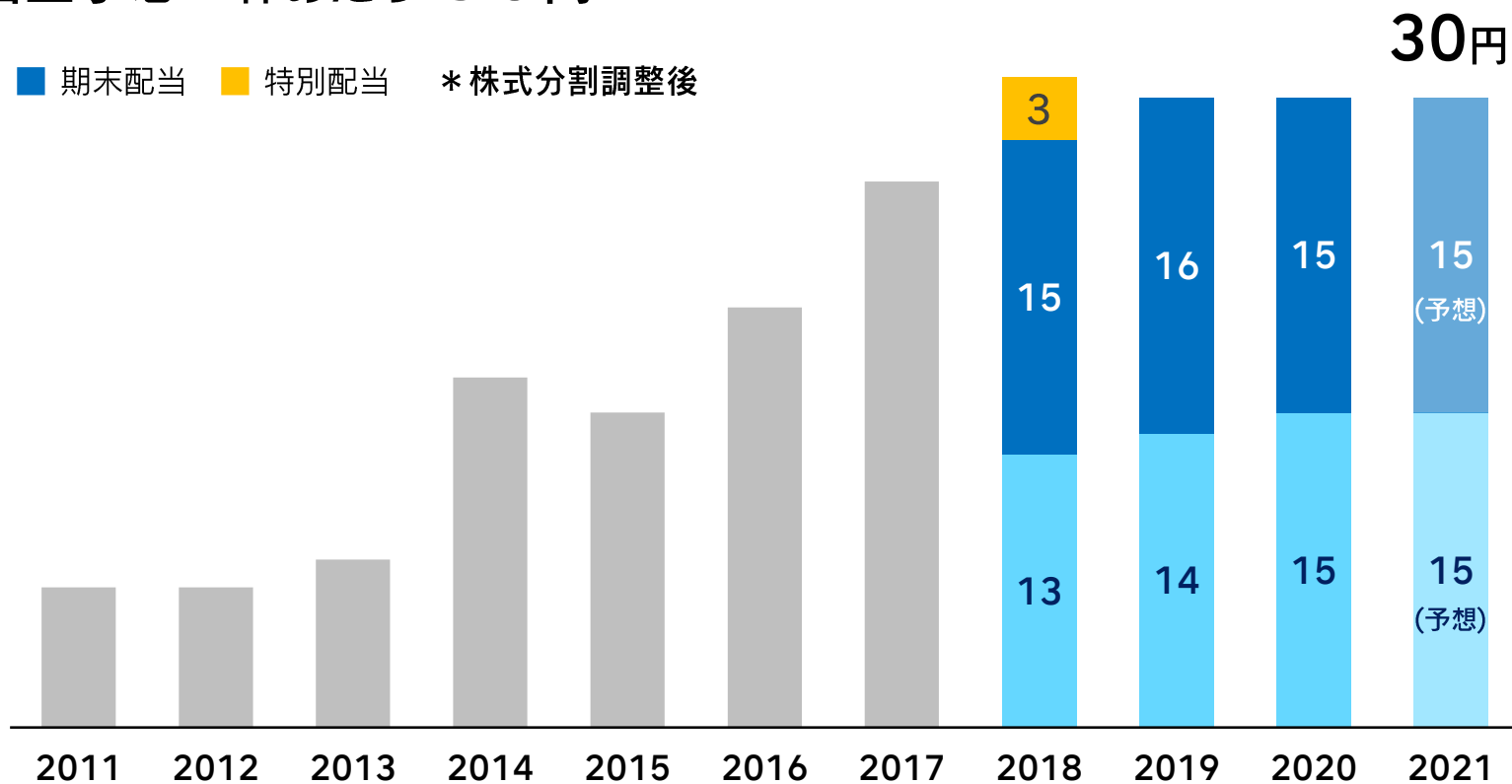
	2020/12 実績	2021/12 計画	増減額
歯科製品関連	29,025	31,109	+2,084
工業製品関連	2,740	3,327	+586
その他	1,289	1,469	+180
為替影響	—	-805	-805
合計	33,055	35,100	+2,044

百万円



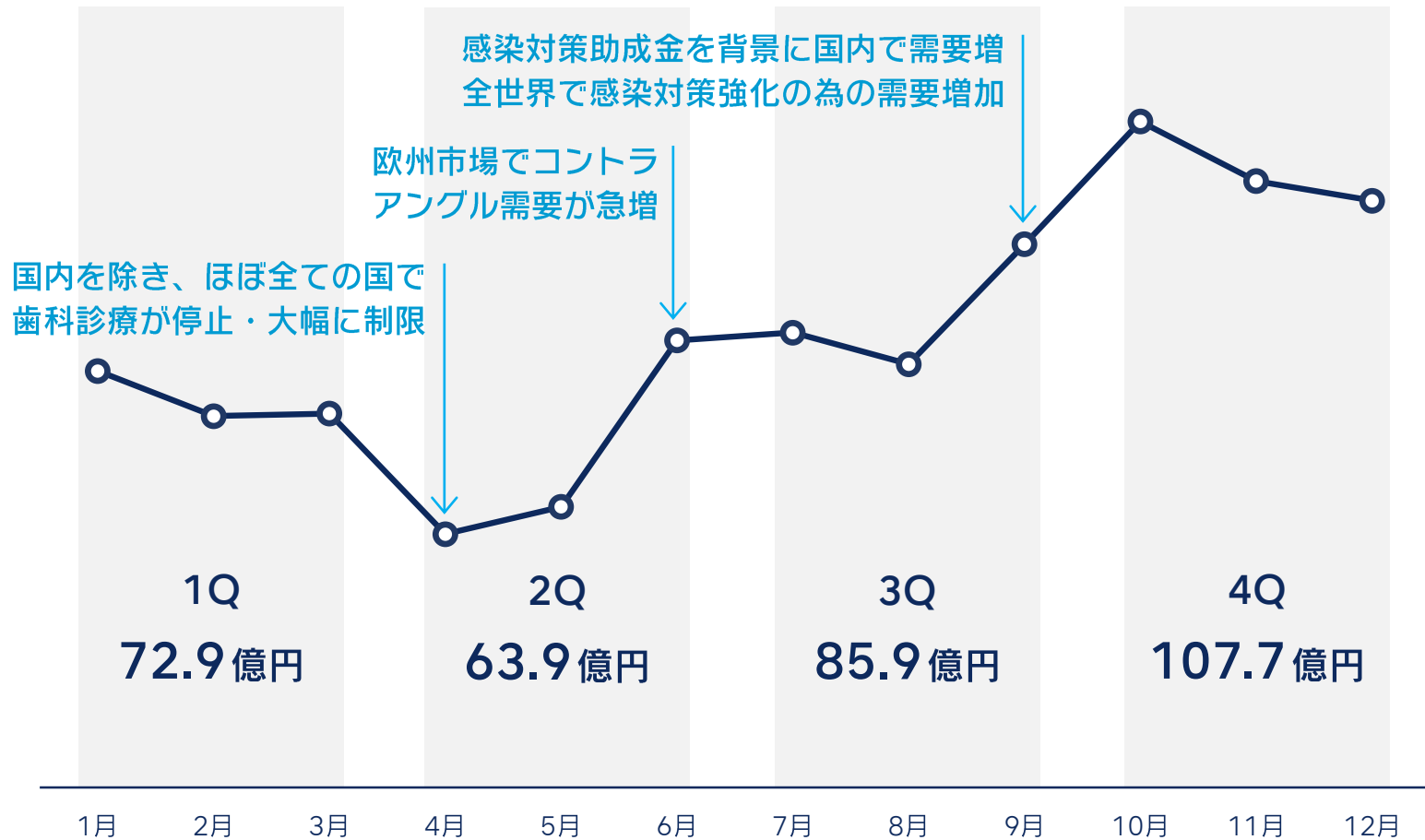
2021年12月期 年間配当金予想 1株あたり 30円

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 特別配当 * 株式分割調整後



E P S (円)	51.96	48.42	53.61	79.33	71.22	61.15	84.75	87.59	81.97	74.49	74.45
配当性向 (%)	12.8	13.8	14.9	21.0	21.1	32.7	30.7	35.4	36.6	40.3	40.3

各事業の概況と今後の施策



世界各都市がロックダウンに入ったことで2Qをボトムに市場規模が大幅に縮小した3Qに入ってから、海外市場ではリバウンド需要や感染予防に係る需要が立ち上がり国内では政府による感染対策助成金が追い風となり滅菌器やハンドピース特需が発生

▶ 感染予防ニーズの勃興

歯科医療現場における感染予防対策は「必須」のものとして、治療のたびに治療器具を滅菌処理することが当然のこととなった。これにより滅菌器およびハンドピースの買い増し需要が全世界的に立ち上ってきている。

▶ 市場シェアの動向

世界各地がロックダウンに入った2 Q を含め、営業活動を一度も停止せずに情報提供や修理要望への早期対応を継続してきたことで、顧客からの信頼が飛躍的に高まった。

ロックダウン明けに発生したリバウンド需要の大多数を取り込んだほか、長年他社に占有されていた大型商談を当社が獲得する等、世界各市場で当社シェア拡大が進んだ。

長期ビジョン『ダントツの最優良グローバル医療機器メーカー』
の実現に向け、2020年～25年（6カ年）の中期経営計画を遂行中

中期経営計画「NV 2025」

基本方針と重点施策

1. デンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業の育成
3. スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

2025年度収益目標

売上高 **500**億円，営業利益率 **28%**

2020年度の進捗

1. コロナ禍の影響が大きく、減収減益に
2. 中国市場では大幅増収に
3. 米国市場で自社ブランドのシェア拡大
4. 歯科・外科・機工分野で新製品を上市
5. 下半期の需要急増にも増産対応

4Qの急回復により、減収減益幅は想定に比べてかなり抑えられた

日本・欧州・米国等で市場シェアの顕著な拡大を実現できた

2021年市場動向の予測

①

感染予防対策に関する
需要が全世界的に継続

②

インプラント/予防歯科
関連需要が急速に回復

2021基本戦略

主力のハンドピース
および滅菌器を拡販

新製品 M micro turbine
iClave mini2

インプラント治療機
予防歯科製品を拡販

新製品 Surgic Pro2

2020年度の概況

2021年度の施策

欧州

売上高
95.1億円
前期比
-2.3%

- 4～5月のロックダウン後に発生したリバウンド需要を獲得。現法の売上高は前年を上回って着地
- OEMビジネスは大幅に落ち込み売上高が半減

市況の見通し



- 感染予防対策に焦点を当てたハンドピースおよび再処理（消毒・滅菌）製品の拡販
- インプラント治療用機器の新製品「Surgic Pro2」の上市と拡販

国内

売上高
67.3億円
前期比
+13.0%

- 政府の感染対策助成金によって滅菌器とハンドピース買い増し需要が急激に立ち上った
- 新型滅菌器「iClave mini2」を10月1日に発売。感染対策需要の波に乗り、大幅増収に

市況の見通し



- 政府助成金が終了した後は、一定の需要反動減が発生するものと想定
- 市場から高い評価を得た「iClave mini2」および「S-Max M micro」の拡販

2020年度の概況

2021年度の施策

北米

売上高
41.8億円
前期比
-24.1%

- 下半期から現地法人の販売が回復したものの、前期に比べて減収に
- 各社の市場シェアが下落する中、当社ブランドのシェアが急上昇
- OEMビジネスが持ち直さず前期に比べ3割超の減収に

市況の見通し



- エアタービンから電気モータへの需要のシフトを最大限取り込んでいく
- DCI International 社との協業推進し、自社ブランドの市場シェア拡大を目指す

アジア

売上高
41.4億円
前期比
-5.0%

- 中国現地法人による直販体制への切り替えは順調に経過し、前期に比べ3割超の増収に
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が残るアジア諸国への販売は概ね低調に推移

市況の見通し



- 中国現地法人の営業体制のさらなる強化と代理店網の整備・拡充を進める
- アフターコロナを見据えてハンドピースやインプラント関連製品の拡販に注力

2020年度の概況

2021年度の施策

中近東

- 新型コロナウイルスの感染拡大が徐々に強まり、販売は低調に推移

市況の見通し
→

- 主力製品のハンドピースおよびインプラント関連製品の拡販を進めていく

南米

売上高
44.4億円

- 新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、販売も大幅減

市況の見通し
↗

- 主力製品のハンドピースおよびインプラント関連製品の拡販を進めていく

ロシア

前期比
-12.0%

- ロックダウン解除後のリバウンド需要を着実に取り込み、増収に

市況の見通し
↗

- モスクワ事務所を現法化アフターサービス強化で域内シェアNo.1を盤石に

豪州

- ロックダウンにより上半期は減収となったが4Qに大きく巻き返し

市況の見通し
↗

- 感染症対策で需要が高まる滅菌器およびハンドピースの買い増し需要を取り込む

高圧蒸気滅菌器（オートクレーブ）

iClave mini2

政府による感染予防対策助成金により
オートクレーブ需要が急激に立ち上る

発売してから既に1,000台以上を販売

ハンドピースに特化したコンパクトな
筐体サイズと短い滅菌処理時間が好評

- ☑ 高圧蒸気重力置換による滅菌力を実現
- ☑ コンパクトながら最大12本滅菌可能
- ☑ 視認性・操作性に優れたLCDパネル
- ☑ さらに充実させた安全機能・便利機能





歯科治療用ハンドピース（エアタービン）

S-Max M micro

当社製品ラインアップのミドルレンジを担う「S-Max Mシリーズ」の新製品

Φ9mmのミニヘッドにクラストップ20Wのハイパワーを実現。歯科医師の意見をもとに使い易さを徹底的に追及

内部構造を見直して、部品点数を削減
従来品よりもコスト競争力高い製品に

- ☑ ミニヘッドでありながらもハイパワー
- ☑ 安全性を高めるクイックストップ機構
- ☑ 歯科医師も交換可能なカートリッジ式
- ☑ ナカニシ独自のサックバック防止機構



インプラント治療用マイクロモータシステム

Surgic Pro2

世界各地の市場でトップシェアを誇る
当社旗艦製品「Surgic Pro」の後継機

インプラント市場は急回復しており、
欧州を手始めに世界各市場で展開予定

- ☑ 操作性を向上させた先進的デザイン
- ☑ 軽量化・小型化したマイクロモータ
- ☑ ワイヤレス接続性の拡張 (Bluetooth)
 - ハンズフリーを支援するフットコントローラ
 - インプラント定着度測定器 (Osseo 100+)
 - 超音波・骨切削機器 (Vario Surg3)
 - タブレット端末 (手術ログを一元管理・保存)

2020年・概況

新型コロナウイルスの影響により、アジア（中国）を除き販売低調に

- 国内市場は大幅減収。年度末にかけて復調したものの、大半が来期にずれ込み
- 欧州はロックダウンの影響で販売落ち込み。後半に復調したものの挽回できず
- 5G関連投資も追い風となり、中国市場は堅調。アジア諸国の販売減を下支え

2021年・施策

自動車等の製造業は急回復しており、これら需要を着実に取り込む

- 生産ラインの「自動化・省力化」ニーズに対して、システムインテグレーターとタッグを組み、アプリケーション事例を訴求（顧客深耕および水平展開）
- 新製品「シーナスZERO」の立ち上りは順調で、米国・欧州への拡販進める
「NR33-6000ATC-ESD」スピンドルは5G関連案件への提案活動を積極化

静電気帯電防止スピンドル NR33-6000ATC-ESD



スピンドルの先端部分に通電素材を採用
静電気の帯電防止を実現した高速スピンドル

多くの電子機器に搭載されるプリント基板の
製造工程(基板の分割工程)に活用することで
静電気による基板破損を防止し、歩留まりの
改善に貢献。5G関連で需要増が見込まれる

超音波研磨装置 Sheenus ZERO



従来品に比べ、省エネルギー、軽量化を実現
先進的なデザインで、視認性・操作性が向上

アルミ金型から超硬金型まで各種金型の制作
において、研削・研磨・鏡面仕上げ等幅広い
工程をこの一台でカバーできる

2020年・概況

新型コロナウイルスの影響で世界各地の手術件数が減少、販売苦戦

- 日本：活動が制限される中、デジタルマーケティングを推進し、売上横ばい
- 欧州：新製品「P300アタッチメントシリーズ」の販売が大きく伸び、増収
- 北米：一般外科病院への販売は伸びたが、手術数減少の影響が大きく、減収
- アジア：中国市場は回復基調となったが、インド・アジア諸国で苦戦し、減収

2021年・施策

コロナ禍の影響残るものの、新製品の拡販を軸に業績回復を目指す

- 日本：既存顧客の深耕・新規診療科の開拓・デジタルマーケティングの推進
- 欧州：現地の各代理店との連携強化を通じて、新規の大型案件の獲得に注力
- 北米：「P300アタッチメントシリーズ」の上市、主要顧客フォローアップ
- アジア：中国市場の代理店網強化・KOLタイアップを推進、インド市場の攻略

Primado 2

脳神経外科・整形外科などで使用する電動式骨手術用機械



P300アタッチメントシリーズ スリムアタッチメント300

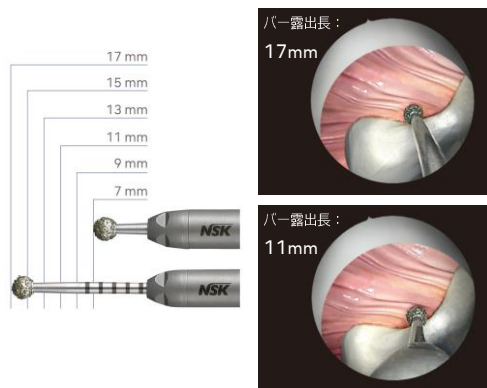
定評のある骨切削用ドリルの回転安定性はそのままに視認性・操作性・安全性の向上に寄与する機能を搭載

内視鏡下等「低侵襲手術」に有用なアタッチメントラインナップ拡充
特に脊椎内視鏡領域への対応力向上により、ビジネスチャンスが拡大



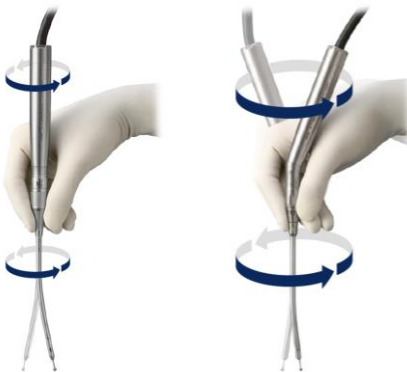
視認性の向上

先端形状の改良と露出長可変バー機構を採用し、視認性が向上



操作性の向上

アングルタイプその他、ストレートハブを用意 指の回転のみで狭いスペースにアクセス



安全性の向上

2種類のバープロテクター装着可能 手術中の周辺組織の巻き込みを防止



NSK